

# 取扱説明書

ファインセラミックス

## 流動度測定装置

JIS R 1639



筒井理化学器械株式会社

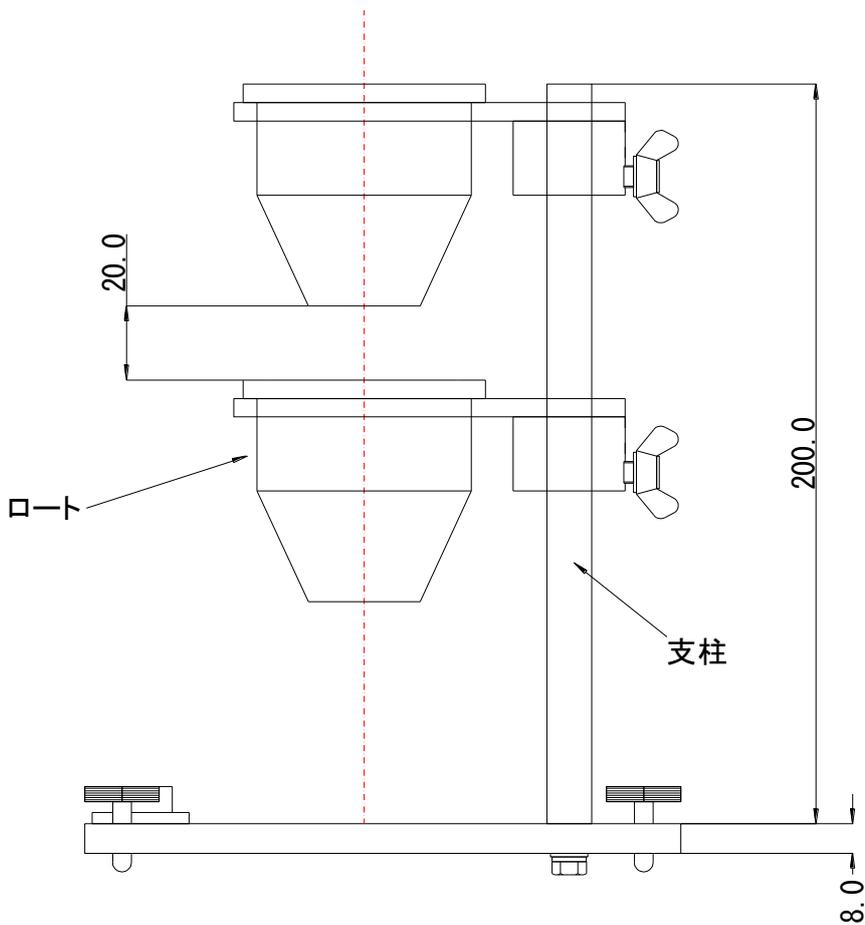
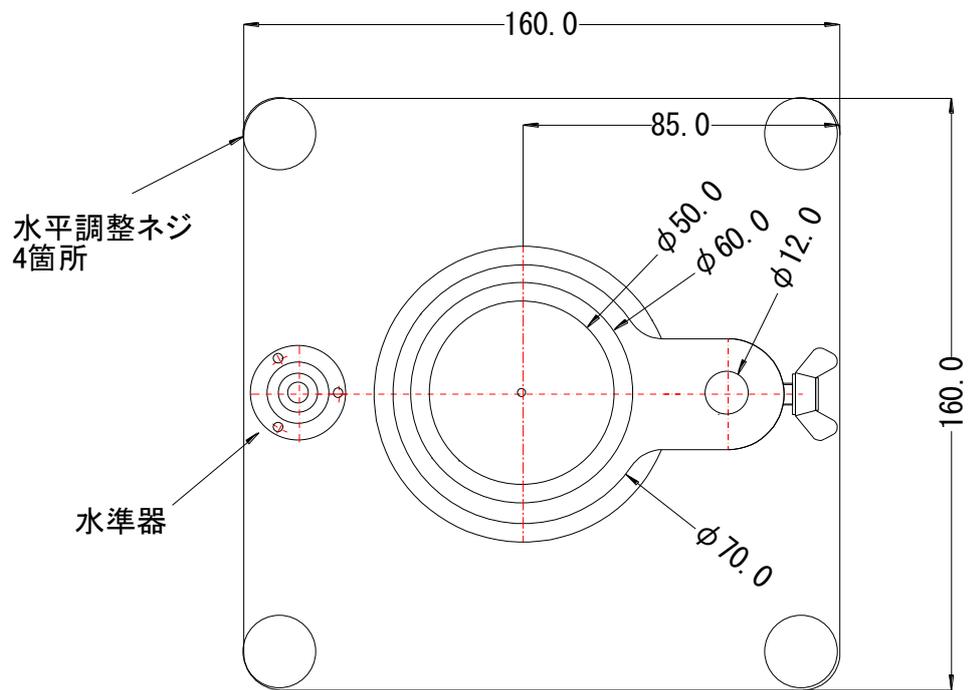
〒110-0003 東京都台東区根岸1-1-31

TEL 03-3845-2011

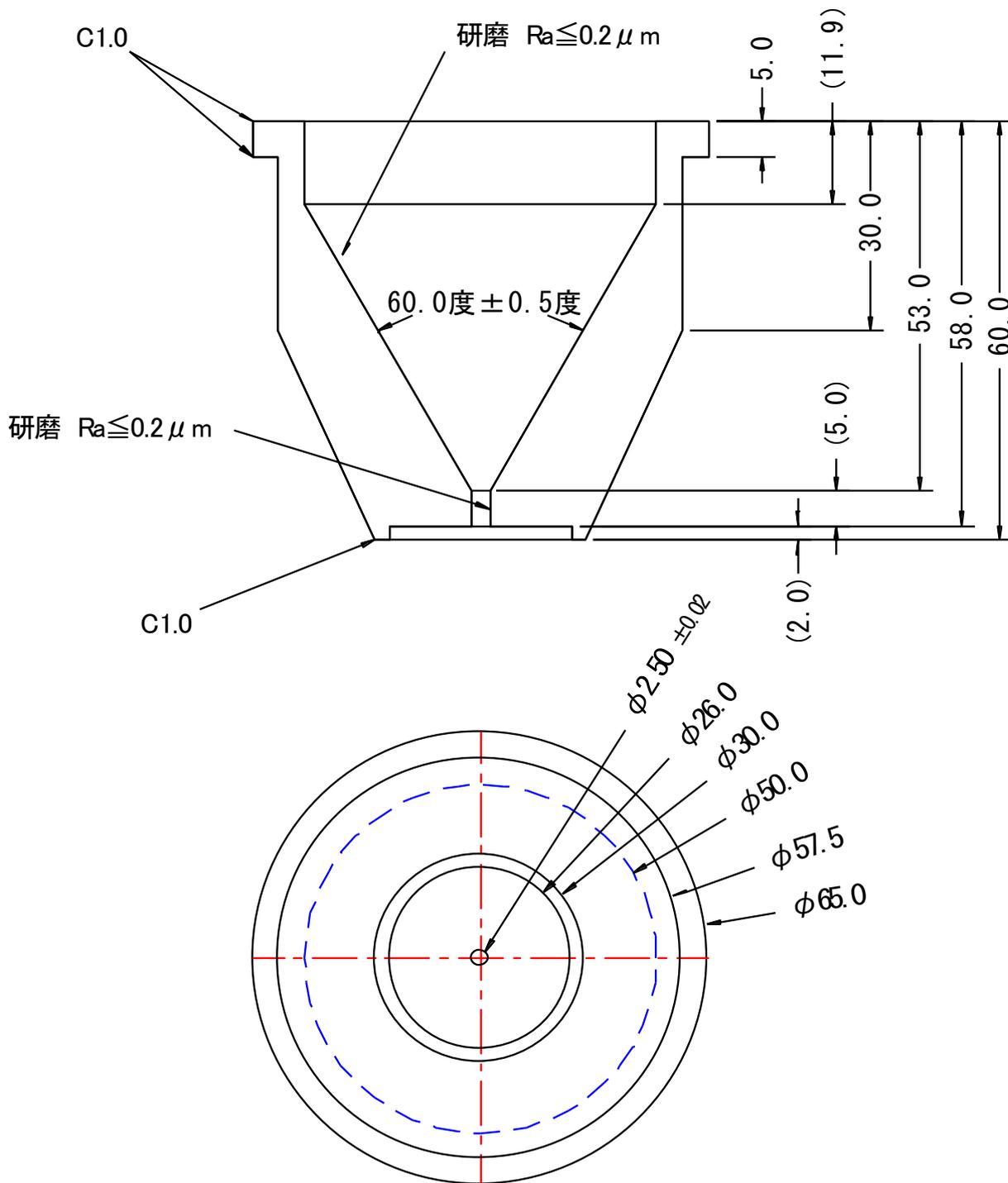
FAX 03-3842-5852

E-mail: [sales@e-tsutsui.com](mailto:sales@e-tsutsui.com)

各部名称と機能



ロート



## 測定手順

1. サンプルングした調整試料を 3 個準備する。
2. 受器の質量  $w_1$  を 10mg の単位まで電子はかりで測る。
3. 流動度測定装置の受器、測定用漏斗および充填用漏斗の中心が一致するように調整する。このとき、測定用漏斗の上端面が水平であることを水準器で確認する。
4. 手に手袋をした後、片方の手の指で、充填用漏斗底部の排出口下端をふさぎ、他方の手で調整試料の 1 試料を発塵しないように静かに充填する。
5. 測定用漏斗底部の排出口下端を、空いた手の指でふさぎ、充填用漏斗底部の排出口下端から指を離して、測定用漏斗に試料を充填する。
6. 測定用漏斗底部の排出口下端から指を離し、その瞬間から最後の試料が排出口下端をはなれるまでの時間  $t$  をストップウォッチで 0.1 秒の単位まで読み取る。試料が不連続的に漏斗から排出するとき及び排出できないときはその状況を記録する。
7. 受器と排出された試料との合計の質量  $w_2$  を 10mg の桁まで測定する。
8. 残った 2 個の試料についても、2~7 の手順によって測定を行う。
9. 試料の排出が、付着水または温度の影響を受けていると思われるときは、JIS R1639-3 に従って、乾燥減量を測定する。

## 計算

流動度  $F$  は 3 回の測定結果のそれぞれについて次の式によって小数点以下 3 桁まで計算し、計算結果を算術平均して JIS Z8401 によって小数点以下 2 桁に丸める。

$$F = (w_2 - w_1) / t$$

- $F$  : 流動度 (g/sec)  
 $w_1$  : 受器の質量(g)  
 $w_2$  : 受器と排出試料との合計の質量(g)  
 $t$  : 排出時間(sec)